

行事予定

七月 十三日(月)〜十五日(水) 棚経
 七月 十七日(金) 施餓鬼会
 七月三十一日(金)〜八月二日(日)
 盆踊り大会(於 駐車場)
 八月 十五日(土)〜十七日(月)
 第十次妙心寺と五山の送り火の旅
 九月 二十三日(水) 秋季彼岸会
 九月 二十八日(月)〜三十日(水)
 全国奉詠大会(於 札幌)
 十月 十七日(土) 第十二回天満敦子
 パイオリンコンサート
 十月中旬 龍雲寺子ども会餅つき大会
 十二月三十一日(木) 除夜の鐘
 一月 七日(木) 大般若会

孟蘭盆施餓鬼会

平成二十七年七月十七日(金)
 於・龍雲寺本堂
 十一時 御詠歌奉詠
 十一時三十分〜法話
 正午 法要
 ※生姜ご飯とお漬物をご用意しています。
 皆様おそろいでお参り下さい。
 申し込み不要。

夏休み

○龍雲寺てらこやの御案内
 【日時】七月三十一日(金)
 午後一時〜五時まで
 夏休みにお寺で坐禅や盆踊りを通して
 日本文化にふれながら、楽しく遊べる企
 画を考えています。詳しくはお寺までご
 連絡下さい。

盆おどりの練習日

七月二十三日(木) 午前九時〜
 午前十時半
 七月二十七日(月) 午前九時〜
 午前十時半
 ☆七月二十八日(火) 午後七時〜
 午後八時半
 ※お子さんは午後八時まで。二十八日
 は夜ですので、保護者同伴でお願い
 します。

○練習に参加したお子さんは、やぐら
 の上で踊れます。
 ○小学校のプールのあるお子さんは、
 プールの支度をして来て下さい。
 ○子ども用ゆかたの貸し出しもあり
 ます。

編集後記

○皆様、気候が不順ですが、如何お過ごしですか？
 龍雲寺も、棚経、お施餓鬼会の準備が始まっています。
 七夕飾りを皆で作ったり、子ども会や大人の盆
 踊りの練習があり沢山の皆さんが来られます。盆踊り
 は昔の健康体操のようです。一小節の振り覚えれ
 ば、繰り返すので見ているより踊った方が楽し
 く元気になります。ぜひ、今年は、挑戦してみて下
 さい。○ご本山妙心寺のお精霊送り、五山の送り火
 の旅は宿泊先の花園会館屋上から椅子に座って送り
 火を拝めます。毎年涼しい部屋で、お写経や陶器、
 匂い袋作りの講習会をしています。お子さんの夏休
 みの宿題も出来ます。川床や送り火の特別な精進料
 理等美味しく楽しい企画です。ぜひ、ご参加下さい。
 ○第九次四国八十八ヶ所巡拝は二回目が始まってい
 ます。○方丈さんは西国三十三ヶ所観音巡礼をお参
 りしたいそうですので、第四次西国三十三ヶ所観音
 巡礼を十月に始める予定です。○方丈さんは三月末
 で花園大学学長を辞め龍雲寺にいます。京都に週に
 三日帰りしていたのが暇になり、最近、机に向
 かって運動不足気味です。立ったり座ったりの
 離着陸の時に膝が痛いそうで治療中です。早く良
 くなって欲しいです。子ども達も、いろいろ誘い出し
 てくれます。方丈さんは鼻水、くしゃみが止まらず
 薬を服用中で晩酌の大好きなビールを控えています。
 ○書生さんの伊東さんは、龍雲寺に七年居てくれま
 す。四国の歩き遍路を三回しています。私は皆様を
 引率して九回西国巡拝していますが、一人で歩き遍
 路は、途中までです。伊東さんの歩き遍路は大変な
 事だと思います。日焼けしてスマートになった伊東さ
 んに声を掛けて下さい。○薔薇園は磯貝さんが丹精
 込めて薔薇園のお世話をして下さいます。今年も沢
 山の方々が見に来て下さいました。○山内一同おか
 げさまで元気になっております。犬のハクちゃん、猫
 の響ちゃん、杏ちゃん、凜ちゃん、桜ちゃんも元気
 です。○お施餓鬼会には生姜ご飯やお漬物をご用意
 してお待ちしています。皆様もお元気で。要子

臨済宗妙心寺派

龍雲寺 花園会報

二〇一五年 お盆号

監修／細川 晋輔

編集／細川 要子

〒一五四〇〇〇三
 東京都世田谷区野沢三三八一

TEL〇三三三四二一〇二三八
 FAX〇三三三四二一八九八六三

野沢龍雲寺 検索

ご挨拶

新命住職 細川 晋輔

百三十五年以上龍雲寺で続く三峰榛名講も、たくさん
 の方々にご参加を頂きおかげさまで無事につとめあげる
 ことができました。そして、いよいよ暑い夏がやって来
 ます。二ヶ月間の歩き遍路を終えた書生の伊東さんも、
 日に焼けて身体も引き締まって無事に帰ってきてくれま
 した。盆踊りの準備やお施餓鬼の準備など、いよいよ寺
 内はバタバタし始めています。

お盆は正しくは「盂蘭盆」と言います。これは古
 代インドの言葉「ウランバーナ」を漢字に音写したもの
 のです。「盂蘭盆」という漢字自体に意味はありません。
 例えばフランスのパリを音写して「巴里」とするよ
 うに。「ウランバーナ」は「逆さ吊り」という意味です。
 そして、昔話の「カチカチ山」のタヌキのように、棒に
 手足を結ばれて、足を上にして頭を下にして逆さ吊りさ
 れている苦しみを指しています。つまり、真理・道理か
 ら逆しまになって、苦しいということになります。

雲をふむ 峰のかけはしそれよりも うきよをわたる
 みちぞあやうき

妙心寺の基をつくられた花園法皇様が人生の苦難を
 詠んだ歌です。その意味は、「雲高くそびえる山の峰か
 ら峰に掛け渡した橋を渡るのは大変危ないが、それ以
 上に危険なのがうきよ(人生)を渡る路である」とい
 うものです。この歌には、人生は生まれた時から苦し
 みが始まるという仏教の教えが色濃く表されています。

私事ですが、今年は祖父と祖母の七回忌でした。その
 お墓参りを親族でしていた時、叔母がネジバナを墓前
 にお供えしていました。聞けば祖母が大好きな花だったそ
 うで、よく車を止めさせて中央分離帯までネジバナを取
 りにいっていたとか。お花をみて故人を偲び、そしてそ
 の方から教わった色々なことを思い出す。これこそ、危
 険な人生を歩んでいくうえで、苦しみを和らげるための
 一番いい道なのかもしれません。

物言わぬ 位牌を拭いて 声をきく

残念ながら亡くなった方は戻ってきません。それで
 も、亡き人の位牌を拭いて向き合うことで、生前教わ
 ったことを今一度思い出し、自分の人生の教訓とした
 いものです。

「四国を歩いて」

伊東 正 智

四月の半ばから約二ヶ月間のお休みを頂いて断食道場と四国のお遍路さんに行かさせていただきました。私にとって三度目のお遍路さんになるのですが理由はともかく、所謂お四国病といわれるところかもしれません。お四国病というところのことかと思われる方もいるかもしれませんが、何度もお遍路さんをすることを指すようです。実に私も歩き遍路として三度目になるので立派なお四国病です。お遍路さんといってもそのあり方は様々です。歩き、自転車、自動車、電車、バス等々。全てを通して回る人、区切って回る人。遍路道を行く人、舗装道を行く人。百人いけば百通りの回り方があると言われています。龍雲寺でも奥さん引率のもと毎年、四国、西国、坂東、秩父等々お参りに行っております。私も何度も皆様とご同行させて頂いて皆様と楽しくお参りさせていただきました。皆様と楽しくお参りするのも一つの形ですが、歩き遍路はまたそれは違った趣があります。歩きのお遍路は一人で歩くことがほとんどで天候やその歩く行程から大変だと声を掛けて頂くことが多く、確かに肉体的につらかったりしますが、お接待や遍路道を通して感じる自然には言葉にならないものがありました。その感じるところ人によって様々なので一様ではないのですが、そこでの非日常の出来事がお

遍路さんを四国に引きつけているのだと思います。こうして無事、結願出来ましたこと誠にありがたいことと思います。今回、快くお遍路に送り出して頂いた方丈さん、奥さん、新命さんをはじめ皆様方に、感謝の気持ちを述べさせて頂くと共にご報告させていただきます。ありがとうございました。

任職(晋輔)よりのご報告

●今年の春より大本山妙心寺より、川崎市にある臨済宗妙心寺派・薬師院の兼務住職を拝命しました。薬師院の西ご住職が遷化(逝去)される際、閑栖和尚(父)に後時を託されました。そのご意志に伝えるためにも、しかるべきご住職が薬師院に入られるまで、お寺をしっかりと護持していく所存です。閑栖和尚と協力しながら龍雲寺の法務を行って参りますので、何卒ご理解のほどをお願い申し上げます。

●「龍雲寺会報」を見やすくしました。「字が小さすぎる」との声があり、自分でも小さすぎると思っていましたので、今号より大きくしてみました。

●AEDを設置しました。使うような事態が起こらないことを祈っていますが、念のため玄関に設置いたしました。

募集

詳しくは龍雲寺まで
お早めにお申し込み下さい。

◆無相教会花園流御詠歌会員募集

七月二十一日(火)・八月休み
九月 十四日(月)・十月 十三日(火)
十一月 十七日(火)・十二月二十五日(金)
毎週木曜日二回自主練習

男性・女性どちらでも可

会費は無料、お弁当代六百円のみ。貸出用の御詠歌のお道具有り、見学自由、全員イス席で講習を受けます。自主練習(不定期)。男性もどうぞ。○他にも龍雲寺では囲碁の会・茶道部・法声会(長唄・三味線)・獅子舞・子ども会・かつぱれ・ヨーガ等があります。

◆早朝洗心坐禅会(申込不要)

毎週日曜日 朝六時半～八時半(六時開門)
会費 無料
坐禅用のイスもご用意しています。

◆写経会(申込不要)

毎月第二土曜日 一時～四時
(但し、七月、八月はお休み)
納経料は 一巻五〇〇円(龍雲寺に納経)
来られない方は、お写経をお渡しいたしますのでご自宅でお写経をどうぞ。
イス席もご用意しています。

◆第十次妙心寺と五山送り火の旅

八月十五日(土)～十七日(月)
ご本山妙心寺のお精霊送りの法要。
お写経・陶器、お数珠作り。三名一室、二名一室、一名一室で連泊。
会館の屋上から送り火を拝め、疲れないように、お昼寝タイムを。
川床や送り火の精進料理をお楽しみ頂けます。直接お寺にお問い合せ下さい。資料をお渡します。お一人で参加でも大丈夫です。
※定員になり次第メッキリに。

◆龍雲寺厚木墓地のご案内

開修寺墓苑内に龍雲寺檀徒用の墓地を造成しました。龍雲寺檀徒としてお付き合いをさせて頂きます。
A (二五〇×一五〇) 永代使用料一二五万円
B (二五〇×一四〇) 永代使用料一一四万円
A Bとも納骨棺、塔婆立、拜石等の外柵工事費を含みます。

◆納骨堂(お遺骨一時預り 無料)

墓地をお持ちでない方や転勤の多い方、将来落ち着き先がわからない方たちが、ご不幸があつて慌てて墓地を買われないように、落ち着いて考える時間を持つて下さるようという考えで十数年前に納骨堂を本堂の裏側に建てました。いつもお参りの方がいらしています。

◆龍雲寺てらこや子ども論語塾

全国各地で定例講座をされている安岡定子先生をお招きしての論語の素読教室です。終わってからの遊びも時間も大好評です。
【日時】七月五日(日)・九月六日(日)・十月四日(日)・十一月一日(日)・十二月六日(日)
【参加費】大人千円、子ども五百円(家庭料金千円)
申し込み、お問い合わせはお寺まで

◆龍雲寺ダレマトーク(法話会)

【日時】九月二十六日(土) 午後二時半から
四時半まで(開場 午後二時)
【場所】龍雲寺本堂
【講師】妙心寺塔頭 退蔵院 松山大耕師
【参加費】無料
※要予約(東京禅センター)
申込みは、お名前・お電話番号・人数を明記の上、東京禅センターまでFAXでいただけると助かります。
★東京禅センター TEL〇三(五七七九)三八〇〇
★東京禅センター FAX〇三(五七七九)三八〇一

◆心を磨く心眼セミナー

【日時】七月二十日(月・祝) 午後二時から
【場所】龍雲寺本堂
【講師】正眼僧堂師家・山川宗玄老大師
正眼短期大学副学長 横山紘一先生
【参加費】千円 予約不要